

無所属クラブ 板倉 操 議員



1 生活危機への早急な対策を (1) 市民がおかれている実情を 正しく把握し対策が必要

質問1(1) この危機は今までと違うもので始まったばかりだと認識が必要である。現在でもすでに三千人近くが解雇されている。表に出てない数も多い。二月中旬までハローワークには外国人が多かったが、仕事がないので今は少ない。代わりに若い人が多くなっている。先週ハローワークで聞き取りをした。住む所もなく友人宅にいる人、どうしようもなく生活保護を申請した人、労基法を無視した解雇も多かった。非正規雇用の人ばかりである。皆が職と住居を早急に求めている。この声を行

政全体で受け止めてほしい。国や県の施策を積極的に取り入れる準備は進んでいるか。この事態を引き起こした企業責任についても申し入れを要望したいがどうか。

答弁1(1) 年度末を一つの山と考え取り組んできた。今まで経験した事がない危機なので、緊急経済対策本部を立ち上げ、大手企業や中小企業200社近くを回り実情調査やお願いをしてきた。生活支援窓口の充実、ハローワークとの連携で市民の皆さんの不安を少しでも取り除く努力をこれからも続ける。雇用と住居が最優先であることは把握している。国や県の緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別基金事業費を使って雇用を生み出していきたい。住居についても考えていく。企業への働きかけも継続的に行っていきたいと考えている。

すずか倶楽部 中西 大輔 議員



1 施政方針について 2 白子駅周辺の取り組みについて 3 平成21年度予算編成について

質問1 市長施政方針について、第2期行財政経営計画との関連は。

答弁1 施政方針は、経済対策、F1復活とシティセールス、協働社会・共生社会の実現、緊急医療体制づくりと子どもの育成、生活に密着した安心と安全対策、活気あるまちづくりの6つのテーマで大別され、行財政経営計画での施策にのっとり推進していく。

質問2 「ランタン通り」について、市はどのように考え取り組んでいくのか。

答弁2 街の景観資産や観光資源にもなりえる街路灯の灯りが点灯せず放置されるのは、安全管理や景観に良い影響を与えない。関係部局との連携や、地元団体等と調整し、官民協働の方策を探っていきたいと考えている。

質問3 今回の予算編成で先送りとなった事業は。

答弁3 市民会館・文化会館吊り天井改修事業、要援護者防災マップ作成事業、河曲小学校大規模改修事業、平田野中学校移転改築事業など。



あくていぶ21 青木 啓文 議員



1 平成21年度事業案について

質問1(1) 義務的経費の増加が見込まれ、さらに財政の硬直化が進むのでは。市長の事業編成方針は。

答弁1(1) 厳しい財政状況に対応するため、事業の選択と集中を念頭に置き、柔軟な財政運営に努める。

質問1(2) 行財政改革推進委員会から出された意見書が、平成21年度予算にどのように反映しているか。

答弁1(2) 補助金交付にあたり、客観的な評価基準である「鈴鹿市補助金等交付基準」を定めた。その他「公立保育所の民間委託などの検討」、「公立幼稚園の効率化」といった内容について協議、検討を行っていく。

質問1(3) 多文化共生推進事業の背景や目的、内容は。増加する外国人児童生徒に対し、公立学校における教育課題は何か。また取り組みは。

答弁1(3) 生活習慣の違いなどから様々な課題を抱えている。受け入れ体制を整備し、本市の発展につなげる為に、多文化共生のまちづくりを推進する指針策定を検討する。一番大きな課題は言葉の壁で、小中学校30校中14校に国際教室を設置し、日本語授業を行っている。未設置校については巡回指導を行っている。現在日本語教育システムを構築中である。

質問1(4) 景観計画の進捗と施設整備内容は。

答弁1(4) 計画は現在素案を検討委員会で検討中である。整備内容は、石薬師町での歩道事業や石薬師宿の案内モニュメントを設置する計画である。